



学力向上プラン（学力向上のための取り組み）について

令和5年9月4日号でお知らせした「全国学力・学習状況調査」結果や子どもたちの実態から、学力向上に向けた今後の取り組みについてお知らせします。

また、ご家庭に協力いただきたいことについても記載しております。子どもたちの心豊かな成長や学力向上のため、学校と家庭との連携はとても大切です。ご協力をよろしくお願いいたします。

非認知能力の育成の重視

- ・ねばり強さ、想像力、自己肯定感などを育む指導や活動を重視する。
- ・「厳しく、温かく」すべての子どもを大切に育てる。
- ・時には厳しく、時には温かく、励ましや前向きな言葉かけをし続ける。
- ・学校全体で、場に応じた言葉づかいや話し方を指導していく。
- ・自分の考えを安心して発言できる支持的風土のある学級づくりをする。

授業づくりについて

- ・子どもが主体的に学習に取り組もうとするような課題設定や授業づくりをする。
- ・学習への主体的な姿勢を育むため、励ましや前向きな言葉かけをし続ける。
- ・「わかった」「できた」という経験を積み上げさせる。
- ・知識を身につけるだけでなく、見方・考え方を身につける授業観への転換を図る。
- ・思考が必要となる応用的な問題に積極的に取り組み、その理解や定着を図る指導を大切にする。
- ・算数の応用的な問題やオリジナルの国語プリントを積極的に活用する。

基礎基本の徹底

- ・すべての子に、基礎基本をしっかり身につけていく意識を高め、授業や指導を改善していく。
- ・漢字の読みは、当該学年より後の学年の漢字についても適宜教え、語彙の獲得につなげる。
- ・教科書教材だけでなく、さらに多くの文章に出会う機会を増やす。
- ・図書室の効果的な活用や、伊丹図書館神津分室との連携などにより、読書に親しむ環境づくりを行う。
- ・放課後学習の実施方法を工夫し、基礎基本の定着を図る。

学習習慣の確立

- ・与えられるだけでなく、主体的に取り組む家庭学習のあり方を工夫する。
- ・家庭学習週間や家読の効果をも高める工夫をする。
- ・家庭での子どものゲームや動画・テレビなどとの付き合い方について、家庭と連携を図るとともに、啓発を行う。



ご家庭にお願いしたいこと

- ・家庭学習に主体的に取り組めるよう、また、子どもがチャレンジする気持ちや自己肯定感が高まるように、励ましや前向きな言葉かけを心がける。
- ・言葉づかいを丁寧にし、場に応じた言葉づかいや話し方を教えていく。
- ・読書に親しむ環境づくりを行う。
(例:親子で一緒に本を読む、親子で伊丹図書館神津分室に行く 等)
- ・子どものゲームや動画・テレビなどとの適切な付き合い方について、親子で考える。
(例:子どもと一緒にルールや使用時間などを決める 等)